

# 市民協働事業 相互評価シート

## 1 市民協働事業の概要

事業名称	NPO 組織基盤強化ワークショップ事業	
事業の実施者	団体等	市民セクターよこはま・関内イノベーションイニシアティブ共同事業体 代表団体 特定非営利活動法人市民セクターよこはま
	行政	市民局 市民協働推進課
事業の目的	NPO 組織基盤強化ワークショップを開催することで、横浜市内の NPO 法人が自団体の活動を見つめなおし、自分だけでは気づけない課題があることをみつけ、団体内で共有することにより、NPO 法人の組織基盤が更に強化され安定した運営ができるよう促す。	
事業の内容	NPO 組織基盤強化ワークショップの企画立案 事前説明会、NPO 組織基盤強化ワークショップの開催 受講者からの相談・フォロー対応の実施、広報 等	
役割及び責任 分担等	別添	
実施期間	令和 3 年 2 月 24 日 18:30～21:00 令和 3 年 3 月 4 日 9:30～12:00	

記入日	令和 3 年 4 月 23 日
記入者	[団体等] ・団体等名： 市民セクターよこはま・関内イノベーションイニシアティブ共同事業体 代表団体 特定非営利活動法人市民セクターよこはま ・記入責任者 氏名： 吉原明香 連絡先： 045-671-4732
	[行政] ・部署名： 市民局市民協働推進課 ・記入責任者 氏名： 岡本 今日子 連絡先： 045-671-4734

## 2 事業実施プロセス相互チェックシート

このチェックシートは、事業実施に伴う、それぞれの段階で、必要なことができたかどうか、相互にチェックをおこなうシートです。相互の視点からチェックを行い、その後、「2 事業評価相互検証シート」で総合的な評価検証をおこないます。

### ◎相互チェックシートの評価基準

よくできた	まあまあできた	あまりできなかった	まったくできなかった
A	B	C	D

### ①事業計画段階

		団体等	行政
1	自分たちが達成すべき大きな目的やミッションについてよく話し合うことができましたか。	B	A
2	お互いの立場や組織の違いを話し合ってよく理解することができましたか。	B	A
3	ニーズを把握して共有するとともに、この事業の目標と実施方法を話し合って決めることができましたか。	B	A
4	実現のためにそれぞれが何をできるかを考え、話し合って役割分担を決めることができましたか。	B	A
5	会計のルール等、お互いの組織内部の取り決めについて、説明し合ってよく理解することができましたか。	A	A
6	事業を始めることや計画中であることを、ホームページや会報等を使って市民に発信することができましたか。	A	A

### ②事業実施段階

		団体等	行政
1	率直な意見交換のもとに、お互い対等な立場で事業をすすめることができましたか。	B	A
2	お互いの強みや得意分野を、どう生かし合えるかを考え、提案しながら取り組むことができましたか。	B	A
3	相手に任せっきりにせず、お互いが役割を自覚して積極的に取り組むことができましたか。	A	A
4	事業の進捗に応じて、目標、ニーズ、対象、実施方法などをふりかえり、修正しながら取り組むことができましたか。	C	B
5	必要に応じ、関連する他の部署や団体などを巻き込みながら事業をすすめることができましたか。	C	A
6	事業終了後の見通しについて、話しながら取り組むことができましたか。	B	B
7	事業の進捗状況を、ホームページや会報等を使って市民に発信することができましたか。	B	A

### ③ふりかえり段階

		団体等	行政
1	協働することで、単独でおこなうのに比べてどのような効果が得られたか、話し合って共有できたか。	A	A
2	受益者が満足を得られたかどうかについて、話し合って確認することができたか。	A	A
3	これまでを振り返って、お互いの考えに相違点がなかったかについて話し合い、確認する事ができたか。	A	A
4	期待された事業成果を得られることができたか。	A	A

### 3 事業評価相互検証シート

事業実施プロセス相互チェックシートでおこなった結果をもとに、相互で本検証シートを作成します。

#### 事業計画・実施

(協働して計画を立て、事業を実施した結果、お互いに共有できたことや認識に違いがあったこと、今後、改善が必要と思われることはどのようなものですか。)

##### 【共有できたことや認識に違いがあったこと】

- ・ NPO 法人の団体運営や支援についての団体からの専門的な意見や知識と、行政的な視点からの考えなど、両方で意見交換しながらワークショップの内容を計画することで、より効果の高い事業とすることができた。
- ・ 支援する団体に寄り添えるよう、どうすれば組織基盤強化の推進や、基盤強化への気づきを引き出すことができるのか、相互に意見を出し合うことができた。
- ・ コロナ禍により、開催直前にワークショップの開催方法がオンラインになるという大幅な変更があり、短い時間での対応に迫られたが、団体が有していたオンライン開催のノウハウを活かす等、協働することで、事業実施することができた。
- ・ それぞれが持っている広報手段を活用することで、より多くの参加者を集めることができた。

##### 【今後改善が必要と思われること】

- ・ 大幅な変更が生じた場合は、後からも変更点等を見返せるよう、紙もしくはデータで整理し、共有するなど、双方に認識のずれが出ないようにする必要がある。
- ・ 大幅な変更等に伴い事業の進行が難しい場合は、業務分担の見直し等、柔軟かつ迅速な対応が必要である。
- ・ ワークショップ参加の事前課題が参加者にとって負担となっていたので、両者での内容の精査が必要である。

#### 事業の成果

(協働して事業を実施した結果、当初期待された事業効果がどのような成果となりましたか。)

- ・ コロナ禍において活動が満足にできない団体が多い中、組織の在り方について目を向け今一度考える機会になったと考えられる。当ワークショップの趣旨・企画は時代に合っていたと考える。
- ・ ワークショップを2回開催し、38名の参加があり、うち10団体より次のステップである自己評価への応募があった。参加者の組織基盤強化に関する興味・関心は高まったと考える。

#### 自由記入欄

(別紙)

役割及び責任分担等

事業項目	受託者の役割	委託者の役割
事前説明会、NPO 組織基盤強化ワークショップの企画立案	1 事前説明会、NPO 組織基盤強化ワークショップの企画 2 好事例団体の選定、連絡調整 3 事前課題の入力フォームの作成、取りまとめ及び集計業務	1 事前説明会、NPO 組織基盤強化ワークショップの企画協力 2 好事例団体の確認 3 事前課題チェックシートの作成、取りまとめ及び集計業務協力 4 受講申込フォーム作成及び受講申込受付
事前説明会、NPO 組織基盤強化ワークショップの開催	1 事前説明会、NPO 組織基盤強化ワークショップの実施 2 NPO 組織基盤強化ワークショップ講師・ファシリテーター 3 NPO 組織基盤強化ワークショップでの好事例団体へのアテンド 3 NPO 組織基盤強化ワークショップのオンライン配信による業務 4 事後課題の作成、取りまとめ及び集計業務	1 事前説明会、NPO 組織基盤強化ワークショップの実施協力 2 NPO 組織基盤強化ワークショップ好事例団体への謝金支払 3 事後課題への対応業務協力
受講者への相談・フォロー対応の実施	1 受講に関する相談受付 2 団体の取組等に関するアドバイス 3 相談・アドバイスの記録及び報告書の作成	1 受講に関する相談対応協力 2 横浜市役所内の連絡調整相談 3 横浜市各部署との連携
事業広報	1 事業広報 2 取組事例紹介、情報発信	1 事業広報（本市媒体） 2 取組事例紹介
事業報告	1 記録及び事業報告書の作成	—
事業費	—	1 事業費負担（全額）